

おたる 西別院だより

お盆号



本願寺小樽別院本堂

盂蘭盆会

8月15日(火)・16日(水)午後1時30分より小樽別院本堂にて勤修いたします。

お盆参詣

8月6日(日)より12日(土)の間でお盆参りに伺います。
(あらかじめハガキにて、期日をお知らせいたします。)

納骨堂の読経

8月13日(日)より16日(水)の間は朝8時～夕方6時まで納骨堂での読経を受けたまわります。

盆踊り

8月5日(土)・6日(日) 午後7時～9時まで

8月6日(日)より18日(金)まで、月忌参詣をお休みさせていただきます。

ご門主様ご親修

親鸞聖人750回大遠忌法要
本堂修復落成慶讃法要

平成18年10月10日(火)

一大事



石川県加賀市光榮寺
本願寺派布教使

谷間 徹誠

近時、私達にはテレビ等のマスメディアによって、世間の出来事が一時に大量の情報となってもたらされます。それらの多くがワイドショー化されて放映されるのです。

悲惨な事故や災害、犯罪事件の報道に向き合うなか、いつの間にか私達は大劇場の観客席に座る自分になっていないでしょうか。

そして寄り合う毎に「今の世の中、どうなっているんだい?」「この先、日本はどうなるんだい?」と、これこそ一大事と眉をひそめ、耳そばだてて問い尋ね合っています。

蓮如上人は「行くさきむかひばかりみてあしもとをみねば踏みかぶるべきなり。人のうへばかりみて、わが身のうへのことをたしなまずは一大事たるべき」とお聞かせ下さいました。

仏法は「世の中どうなっているって?よく見てごらん、見ての通りだよ」それより「世の有り様を案じ、国の行方を案ずるのも大切だけれど、貴方自身の有り様はどうなっているの?無常のいのち、このさき貴方は何処へ向かっているの?」

と縁起の法・因果の理をお知らせ下さりながら、本当の一大事をこそ優しく、また厳しく問うて下さるのです。

真実の仏法、南無阿彌陀仏のお名号は常に「わが身知らずになるなよ」と、智慧光となって私の生死の人生をお照らし下さり、「どんなことがあるうとも、けっしてあなたをすてることはありません」と、無量寿のお慈悲の温もりで私をつつみとついで下さるアミダ如来様のおはたらきそのものなのです。

ナオアミダブツが聞こえる、拜まれる、称えられる生活にこそ、自己を慎み、後生の一大事を現生に解かれて、明日を文字通り「明るい日」と読んで生きる事が出来るのです。

そして、今日の安心とよろこびを分かち合い、共に敬い合い、支え合って生きる人生と、安穩の世を目指す確かな道が開かれています。



ご門主様ご親修法要について（ご案内）



このたび、京都本願寺より第二十四代即如ご門主様をお迎えし、ご親修による「本願寺小樽別院親鸞聖人七百五十回大遠忌法要・本堂修復落成慶讃法要」を左記の通り修行いたします。

つきましては、門信徒の皆様のご参拝をいただき、ご法要を賑々しく修行いたしたく存じますので、どうぞご家族おそろいにて、ご参拝いただきますようお願い申し上げます。

尚、当日のご法要に併せて、ご門主様御導師による帰敬式（おかみそり）並びに稚児行列も予定いたしております。日程等詳細については、別途ご案内申し上げます。

記

一、日時 平成十八年十月十日（火）午後一時

二、場所 本願寺小樽別院 本堂

※「ご親修法要」とは、ご門主様（本願寺の住職）が御導師をつとめられる法要のことです。

『盂蘭盆会（お盆）』について



お盆は、陰暦七月十三日～十五日を中心にご営まれる仏事です。現在では、八月に行われる所が多いようです。

また正式には、盂蘭盆会といいますが、「盂蘭盆」は、インドのウツランバナ（倒懸と訳され、逆さに吊された苦しみ）という言葉からきています。「会」というのは、元旦会や降誕会、涅槃会などと同じで、仏事の集まりのことです。

お盆の由来は、お釈迦さまの大弟子の一人である目連尊者が餓鬼道に墜ち苦しんでいる母親を神通力によって知り、そこから救うため、お釈迦さまの言葉に従って修行を終えた多くの僧に百味の飲食を施し、その功德によって母親が救われたという「盂蘭盆経」に

よるものとされております。

また、母親が救われた事を知った目連尊者は、喜びのあまり躍り上がったといわれており、これが盆踊りの始まりともいわれております。

ところで目連尊者の母親は、なぜ餓鬼道に墜ちたのでしょうか。それはわが子を愛しすぎるが故に、他の子どもを同じように愛せなかつたからだということであります。この盂蘭盆会を通し、改めて自分中心の日暮らしをしている私に気づかせていただくと同時に、この私をめあてに必ずお救い下さる阿弥陀さまのみ教えを聞かせていただき、慶ばせていただきますように。

浄土真宗本願寺派(西本願寺)では、 基幹運動を推進しています。

私たちの教団では、いのちの尊さにめざめる一人ひとりが、それぞれのちがいを尊重し、ともにかがやくことのできる御同朋の社会の実現をめざして基幹運動を推進しています。また、今年度より、「ともにいのちかがやく世界へ」という新たなスローガンのもと、さらに強力に推進することになりました。

基幹運動総合基本計画(平成十八年度～二十三年度)

◆目標 御同朋の社会をめざして

「御同朋の社会」とは、いのちの尊さにめざめる一人ひとりが、それぞれがちがいを尊重し、ともにかがやくことのできる社会です。

◆スローガン ともにいのちかがやく世界へ

【基幹運動とは】

浄土真宗は、あらゆるいのちをすくいたいとの阿弥陀如来の願いをよりどころとし、南無阿弥陀仏のはたらきによって信心をめぐまれ、お念仏の人生をあゆみ、私が浄土で仏に成る教えです。そして、いのちあるものが、如来の智慧と慈悲とに照らされ包まれた御同朋であることを知らされることです。そこから、如来のみこころにかなう生き

方を志す私の新しい人生が生まれ、混乱する現代社会の課題に向きあい、乗り越えてゆく原動力となるのです。

私たちの教団は、浄土真宗のみ教えのもと、基幹運動を推進しています。基幹運動は、門信徒会運動と同朋運動をその内容として展開してきました。

門信徒会運動は、親鸞聖人七百回大遠忌を契機として、形骸化した教団の状況に対する危機感から、「全員聞法・全員伝道」を願いに自らが教えを聞き、教えに生きる門信徒・僧侶になることをめざしてきました。

同朋運動は、部落差別を受けてきた門信徒や僧侶などが、差別からの解放を求めて自ら立ちあがったことにはじまります。そして、私と教団の差別の現実を課題とし、差別・被差別からの解放をめざしてきました。

基幹運動は、教団に所属するすべての人びとが、私と教団のあり方を見直し、一人ひとりの苦悩に共感し、社会の現実に向きあつてあむむことで、御同朋の社会の実現をめざす運動です。

【社会の現状と教団の課題】

今日の社会は、人間中心・自己中心の考えがいよいよ強まり、「環境破壊」「人権抑圧」など、多くの問題を引き起こしています。その結果、戦火の絶える日のない現実となり、多くの尊いいのちが傷つき失われています。科学技術の発展は、いままでの生命観を揺るがし「生命倫理」という新たな課題を生み出しています。

また、「少子・高齢化」「過疎・過密」といった社会構造の急激な変化は、私たちの生活に大きな影響をあたえています。さらに、「青少年を取り巻く問題」「虐待」など、さまざまな問題も抱えています。

自らのいのちを絶つ人が増加していることも見過ごすことはできません。まさに、**混迷する社会**といえます。

仏教は、老病死に代表される人間の苦悩の解決にかかわるものです。だからこそ、お念仏のみ教えをよほどどころとする私たちは、このような社会の現実に向きあい、取り組んでいくことが大切な責務なのです。

これまで、私たちの教団は、教団と社会のあるべき姿を実現するために基幹運動をすすめてきました。しかし、いまだに差別事件が起これり、一人ひとりの苦悩や混迷する社会の課題にも十分には応えることができていません。これらの現状をふまえ、さらに強力に取り組みをすすめることが大切です。

【基本方針】

○男女共同参画をさらにすすめ、「門信徒と僧侶の課題の共有」をめざす。

○「御同朋の願いに応える教学（御同朋の教学）の構築」をめざす。

【重点項目】

①親鸞聖人のみ教えに学び、全員聞法・全員伝道の門信徒会運動を推進しよう。

②過去の過ちと現実を直視し、差別と戦争のない社会をめざして同朋運動を推進しよう。

③いのちの尊厳と平等をもとに、一人ひとりの苦悩に共感できる開かれたお寺・教団にしよう。

【次代に向けて】

二〇一一（平成23）年には、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要をお迎えいたします。親鸞聖人は、混迷した世のなかであって、お念仏をと

なえつつ「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」と、苦悩する民衆とともに生き抜かれました。そのご遺徳を仰ぐことは、現代のさまざまな問題を自らのことと考え、また、み教えをわかりやすい言葉で現代社会に語りかけるなど、広く人びとと課題を共有できる私と教団になることにほかなりません。

「ともにいのちかがやく世界へ」とのスローガンのもと、次代に向けて、門信徒と僧侶、男性と女性、大人と子ども、また、民族や国籍など、それぞれのちがいを尊重しあうことのできる私と教団となります。

そして、教団内外のさまざまな課題に向きあい、すべての人びとが如来に願われたお互い（御同朋）として、支え合い、かがやきあいがらとにもあゆむことのできる、活力ある教団を築くため、さらには御同朋の社会の実現をめざして邁進してゆきましょう。

浄土真宗本願寺派で、「共にあゆむ」というリーフレットを作成しています。小樽別院でも無償配布しておりますので、どうぞご覧ください。

憶ふ

「一度に戦争のない平和な世界を」



ねえねえ

わたしのなつてなんだのうっ



ほんとうの居場所って

ひらけりやないんだね



「お寺のイロハ」③ お仏飯とお供物

「お仏壇のお供え物」という言葉を聞くと、
 食べ物のことを思いうかべますが、一口にお
 仏壇のお供え物と言っても、食べ物以外のお
 灯明（ろうそくの火）やお花、お香などもお
 供え物です。

さて、食べ物のお供えですが、お仏飯と、
 一般にお供物といわれるものがあります。

お仏飯は、特に大事とされており、毎朝ご
 飯が炊ければ私達がいただく前にお供えさせ
 ていただきます。仏飯器と呼ばれる専用の器
 に蓮のつぼみの形に盛り、ご本尊の前にお供
 えます。お仏飯を置く台がある場合は、そ
 の上に置きます。朝お供えしたお仏飯は、午
 前中にお下げすることになっています。普段、

ご飯を炊かないご家庭については、ご飯を炊
 いた時、お仏飯としてお供えしましょう。

次にお供物ですが、餅・菓子（本来は落雁）・
 果物の順に重んじられています。これらは、
 当時の貴重品でした。高坏（供物盆）や供筒
 と呼ばれる専用の台にお供えしましょう。

最後に、お仏飯もお供物も大切ないのちの
 恵であります。感謝の気持ちを込めて阿弥陀
 さまにお供えさせて頂き、そのお下がりはい
 ただきましよう。



供筒

高坏

製造直売の店

仏壇・仏具・お宮・神具

片桐仏壇店

小樽市入舟4丁目5番入舟大通り
 TEL (0134) 23-1309 (代)

全日本葬祭業協同組合連合会北海道葬祭業協同組合会員
 社団法人全国霊柩自動車協会北海道支部連合会札幌支部

安心と信頼 *if* 共済会取扱店

24時間営業

小樽典礼株式会社

小樽市稲穂3丁目4番1号

TEL (代) 27-1801・FAX 27-1804

仏教がやがや会ご案内

～がやがや会とは～

仏教がやがや会は、50歳ぐらいまでの女性を対象とした集まりです。毎月15日の夜7時から、1時間半ほどです。内容は、おつとめ、仏事のお話、ご法話、茶話会等です。小さなお子さま・ご家族での参加も結構ですので、どうぞおこしてください。

●ご法話(仏さまのお話)

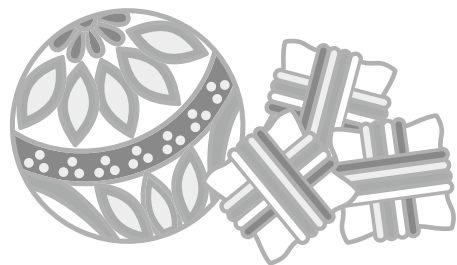
おつとめと仏事のお話の後、30分ほどご法話をいただきます。ご講師のお坊さんが仏さまの教えを楽しくわかりやすくお話していただきます。

●茶話会

ご法話の後は、30分ぐらいの茶話会です。日常の話題や悩み等を同年代の仲間と話し合うことは、大変有意義であると思います。会の連絡や今後の活動についてもこの時間で話し合います。

●その他

会の活動については、随時、会員さんと相談しながら、決めていきます。また婦人会の方々の見学や、昼間仕事をされている婦人会会員さんの参加も大歓迎です。



末広町 永坂 かおる さん

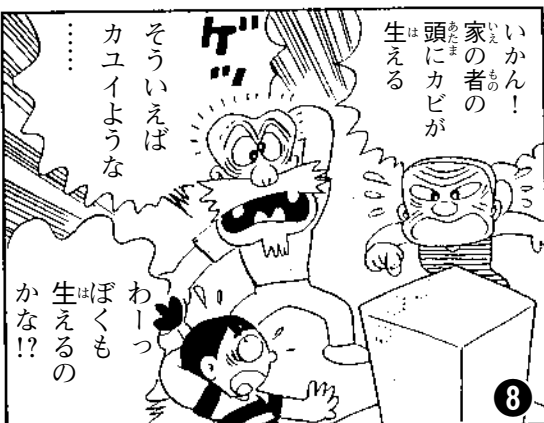
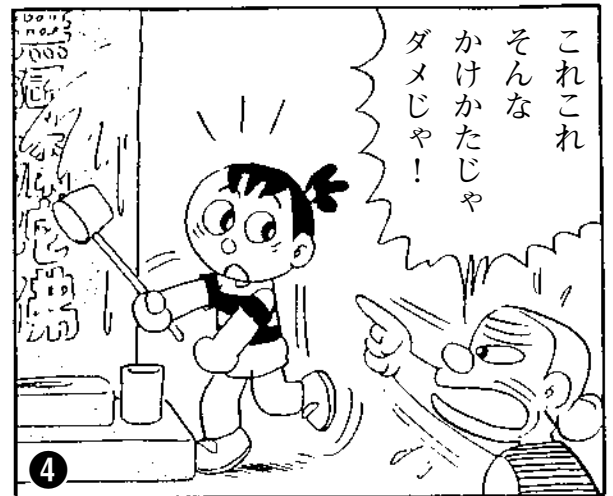
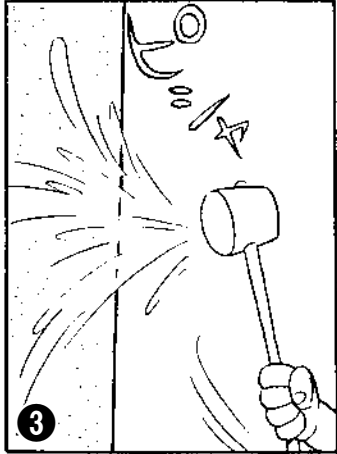
参加者の声

今年2月より「がやがや会」に参加させて頂いております。以前は、別院の仏青(仏教青年会)などでお世話になっておりましたが、仏青を離れてからは、別院へお参りさせて頂く機会がほとんどなく「さみしい」思いをしておりました。時々別院へお参りに行きたいなあと思った時に「がやがや会」参加のお声をかけていただきました。親子での参加もできるということで、子供達も楽しく、時にはご法話の中で恩徳讃(おんどくさん)と一緒に歌ったり、時には、興味をもってお話を聞き、一緒に手を合わせお参りをしております。一緒に参加できて本当に良かったなあと思います。又、仏事のお話では、おつとめや作法の説明など、今まで考えたことのなかった発見が沢山ありました。ご法話の後の茶話会もご講師の先生を囲みながらみんなで楽しく過ごしております。現在、参加者の方は少数であります。もっと沢山の方々の参加を期待しながら、この先も親子共々「がやがや会」を楽しんでいきたいと思っております。

色内3丁目 猪田 香保里 さん

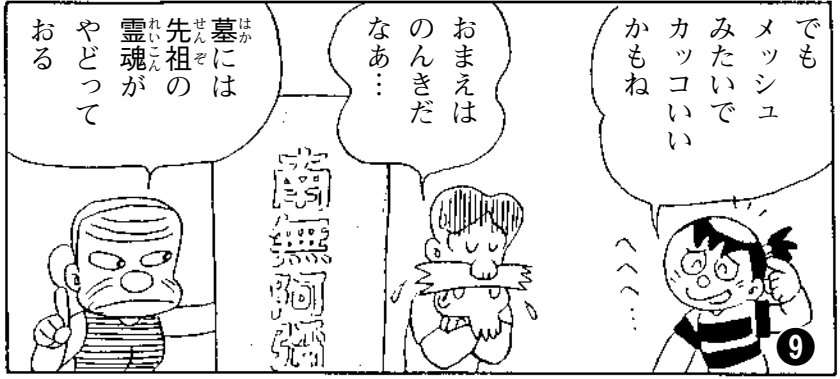
参加者の声

28年間暮らしてきた滝川を離れ、小樽に嫁いで12年になります。その間、お彼岸・お盆・降誕会には、お参りに来ておりましたが、この度別院の職員さんよりお誘いを受けまして2月から「がやがや会」に親子3人で参加させて頂いております。娘は、小樽幼稚園に2年間お世話になっていました。今は、小学校2年生になり、朝は、仏さまに手を合わせてから学校へ行っています。「がやがや会」では、毎月仏事作法を学び、今まで知らなかった事がたくさんあるんだなと思いました。先生達のご法話も聞かせていただき、学ぶ事・考える事がたくさんあります。日々の忙しさの中で1日があつという間に過ぎてしまっていて、何か大切な事を忘れてしまっているんだと気づかせていただき、もっと1日1日を大切にしなければならぬと思いました。これからも、少しずついろいろな事を学んでいきたいと思っております。このような機会をあたえていただいた事に感謝いたします。そして、1人でも多くの方がこの「がやがや会」におこしいただけたらなと思います。





墓の方角が悪かったり
墓相がよくないと
先祖の霊が
うかばれないし
災いが
ふりかかるぞ

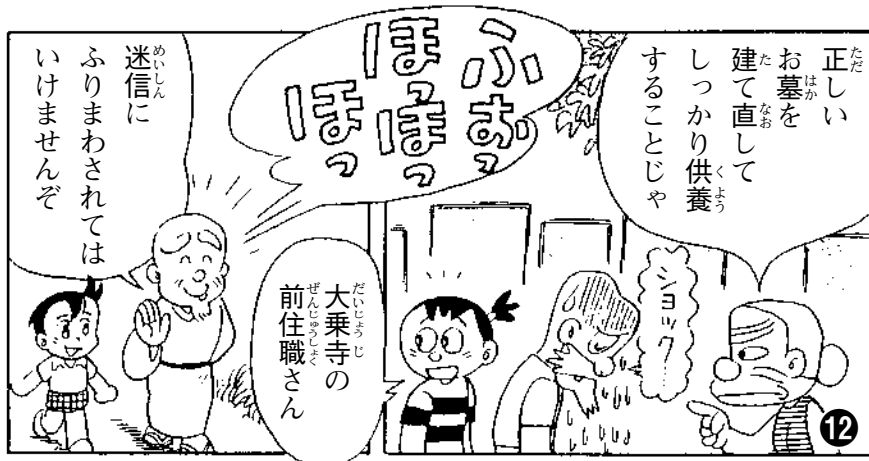


でも
メッシュ
みたいで
カッコいい
かもね
へへ...

おまえは
のんきだ
なあ：

墓には
先祖の
霊魂が
やどつて
おる

南無阿彌陀佛



正しい
お墓を
建て直して
しっかり供養
することじゃ

ほほう
ほほう

大乘寺の
前住職さん

迷信に
ふりまわされては
いけませんぞ



どーしよ
どーしよ
ねえ
じいちゃん
帰りにカビ取り
買わなくっちゃ...

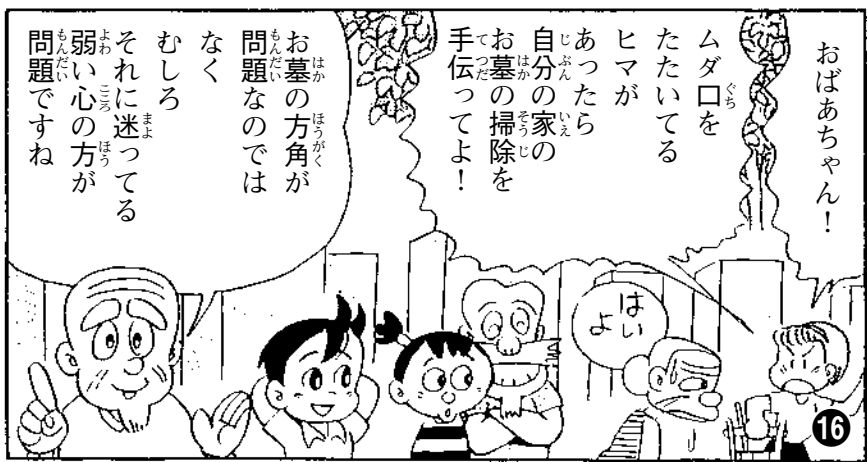


また人生は
お墓の形や
方角で左右
されるような
ものでは
ありませんよ



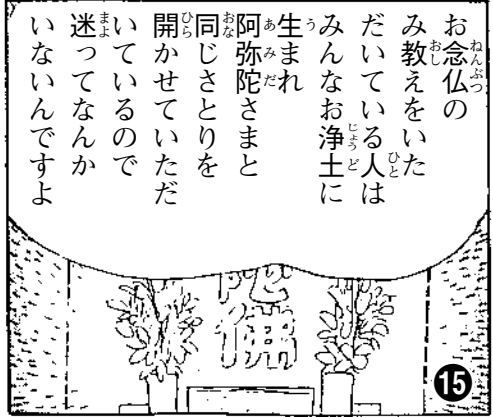
お墓は故人の
徳を偲び私たち
に生命のはかなさ
や阿彌陀さまの
大きなお慈悲
に気づかせ
ていただく
ご縁の場所
なんだよ
だから
根拠のない話に
アレコレ迷わされては
なりません

あつ
そうか



おばあちゃん！
ムダ口を
たたいてる
ヒマが
あつたら
自分の家の
お墓の掃除を
手伝つてよ！

お墓の方角が
問題なのは
なく
むしろ
それに迷つてる
弱い心の方が
問題ですね



お念仏の
み教えをいた
だいている人は
みんなお浄土に
生まれ
阿彌陀さまと
同じさとりを
開かせていただ
いているので
迷つてなんか
いないですよ

別院門徒物故者（平成18年3月1日～平成18年5月31日現在）



以上の別院門徒の方々が、お浄土に還られました。
謹んでお念仏申し上げます。

合掌

本堂修復懇志新規進納者御芳名

（平成18年3月1日～平成18年5月31日現在）

●門徒懇志

金八拾萬円

中野 勇

森谷 久子

花本 幸子

金六拾萬円

橋本 延代

畠山 忠一

日和 久子

金五拾萬円

佐野 昇

金四拾萬円

平井 昭二

小清水 秀行

西塔 恒夫

池田 リエ

藤沢 英司

小林 幸雄

大居 弘

安西 和夫

岡原 誠

碓井 定義

瀧田 美知子

小林 清次

広瀬 美代子

佐藤 秀二

小島 利徳

木川 利雄

森 三千代

茂木 伸一

鈴木 充

江川 澄子

黒澤 和子

鈴木 久司

小林 興子

高張 貢

今藤 久義

小林 正暁

近藤 順三

祖田 耕太郎

三浦 寿子

宮本 範子

田中 元子

梶原 勇三

梅本 勉

玉柳 茂廣

竹島 みさを

鎌谷 一彦

川上 智恵子

金沢 トモエ

竹澤 仁

綿路 直之

川崎 マサ

広田 吉子

角澤 知二

板谷 郁子

佐々木 成子

坂上 久雄

常見 郁雄

加藤 哲郎

有田 光一

中屋 悦子

小野 正二

八田 弥太郎

田島 芳江

能登 繁子

星野 ツヤ

山田 信子

●協賛懇志

金貳萬円

雲外寺

その他、分納にて多数の方々よりご進納頂いております。

（敬称略）

ご進納有難う

ございました。

新職員紹介



山邊 出 やまの げいすけ

四月より、ご縁を頂き小樽別院に務めさせて頂くことになりました東北教区山形組浄覚寺衆徒の山邊出と申します。

昨年は、本山にて臨時勤務員として奉職いたしておりました。

北海道は、初めてでわからないことが多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、皆様から色々と教えて頂き成長していきたいと思っております。

これからどうぞ、宜しくお願いいたします。

3分間の心のともしび



小樽別院

テレホン法話

24時間いつでもどうぞ

TEL 27-1616

ご案内

常例布教

毎月7日～11日 午後2時
13日～16日 午後2時

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

日曜仏教講座

毎月1回（第3日曜日）
午前9時30分

十九日講

毎月19日 正午（おとぎあり）

お 晨 朝

毎日 午前6時30分
（奥沢説教所・新光説教所においてもお晨朝をおつとめています。）

おつとめ教室

毎月2回（火曜日） 午後2時

お講の例会

- 樹心会 5日 午後7時 於 奥沢説教所
- 唯信講 10日 正 午 於 奥沢説教所
- 彰心会 7日 午後7時 於 若竹説教所
- 無量講 9日 午後6時 於 小樽別院
- 法友会 13日 午後6時 於 新光説教所

仏教婦人会

毎月15日 正午（おとぎあり）

仏教がやがや会

毎月15日 午後7時

編集後記

1年間編集に携わっていただいた佐野緑さんと花坂一恵さんが「お盆号」の発行をもって編集委員を退かれました。ご協力有り難うございました。

また、新しく宮本和枝さんと福川ヨシ子さんが編集委員に加わっていただくこととなりました。宜しくお願いいたします。

昨年の「報恩講号」よりご門徒の方に編集委員としてご協力いただき、皆様によるこんでいただける紙面をめざして発行しております。ご意見ご感想をお寄せ下さい。

編集委員

門徒委員 平田 晴己
山下 法子
竹澤 知恭
宮本 和枝
福川ヨシ子

別院担当者 西川 達恵
磯村 真一
森 敬信

連絡先

本願寺小樽別院 小樽市若松1丁目4番17号
☎0134-22-0744 ㊚0134-29-4080

みんな

仲良し

小樽幼稚園



～まこと(いのち)の保育を行っています～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越し下さい。(年中見学可能です。)

☆**保育時間**→月曜日～金曜日(8:30～14:00/冬期間(12月～3月) 8:30～13:30)

☆**昼食**→お弁当～週2回/給食～週3回(パン食2回/米食1回)

☆**預り保育**→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:00迄は無料です/降園バス有)

☆**プール遊び**→年間を通して、週1回温水プール遊びを行っています。(年長のみプール指導有)

☆**英会話**→月2回年長のみ行います。

☆**送迎バス**→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。

☆**主な行事**→花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちつきなど。

☆**ならし保育**→満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、火曜日クラスと木曜日クラス(毎週各1回)にて保育を行います。

※詳しくは、入園案内をごらんください。

園児募集

途中入園可能

募集園児 3歳児(H14.4.2～H15.4.1生まれ)
4歳児(H13.4.2～H14.4.1生まれ)
5歳児(H12.4.2～H13.4.1生まれ)

願書受付 途中入園受付中です。

※事前に御連絡下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園

TEL
FAX

0134-22-6536